

泉大津市議会議員

林哲二 通信 Vol.25

平成24年1月版

発行：林哲二後援会
泉大津市松之浜町2-10-25
TEL/FAX：32-8895



新年号

2012年も
全力投球いたします！！

笑顔あふれる泉大津市!!

新年のご挨拶

新たな年、平成24年を迎えました。

昨年を振り返りますと、やはり、3月11日の東日本大震災を抜きには語れません。とにかく、未だ大津波の残した爪跡は消えることなく、人々の心に重くのしかかっております。また、昨年末に政府が福島第一原発事故収束宣言をしましたが、決して本当の意味での収束はしていないと思います。これからが、まさに正念場になってこようかと思います。

4月には「選挙」があり、皆様のおかげで2期目を迎える事が出来ました。そして6月に突然、末梢性顔面神経麻痺にかかり入院する事となり、皆様にはご心配、ご迷惑をおかけいたしました。申し訳ございません。その結果、6月の定例議会欠席、そして、9月の定例議会は出席しましたが、まだうまく口が開かないため、2回連続一般質問はしませんでした。

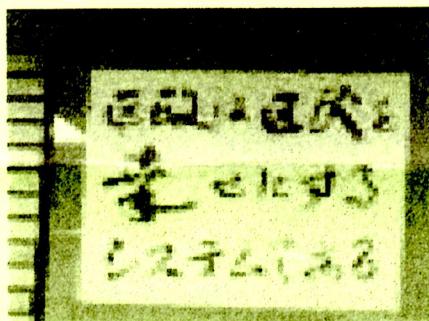
11月には、大阪W選挙で大きな変革期を感じる平成23年でした。そして、平成24年を迎えて、大阪都構想は今後どうなるか、泉大津市にはどう影響するのかも注視しながら、気持ち新たに健康にも十分に気を遣い、ますます皆様のお役に立てるよう気持ちを引き締めてまいる所存です。どうぞ本年もよろしくご指導ご鞭撻の程お願い申し上げます。

ブータン国王来日

昨年、11月15日に来日したブータン国王。GNH（グロス・ナショナル・ハピネス）が話題に。これは、「国にとって大切なことは、金銭的、物質的豊かさより国民全体の幸せである。GNP（国民総生産）よりGNH（国民総幸福量）が大切。ブータンをGNHで世界一の国にしたい」と、1972年の前国王の言葉から始まっている。

日本でも、東京都荒川区役所が、ブータンのワンチュク国王（当時）が提唱したGNHという考え方を取り入れ、荒川区のドメインを「区政は区民を幸せにするシステムである」と定め、平成17年にはGAH（グロス・アラカ・ハピネス）という独自の名称を付し、さらに平成21年には荒川区自治総合研究所を設立し研究がすすめられています。

私は、昨年10月21日に荒川区自治総合研究所を訪れ、GAHについて勉強してきました。



★一般質問報告

昨年の十二月 第四回

定例議会での質問内容。

○『市立病院について』

九月議会の答弁で、病院事業会計への本市の一般会計からの繰り出しが平成二十二年度十三億二七〇〇万円で、このままのペースが続くと平成二十四年度で早期健全化団体によるとの事で、これは市主催のタウンミーティングでも市民の前で説明されました。そこで、病院が歳出を徹底的におさえれる為のプロジェクトチークとして「出るを制する会」をたちあげたと聞いたが、その活動について九月以降の動きを確認。さらに病院を考えた。来年三月には、経済形態を含めた、方針が発表されるとの事です。

○『市内での食品放射能汚染について』

泉大津市内の小学校・保育所の給食における放射能対策を確認。

学校独自の検査は実施していないが、十二月より府教委で実施される（学校給食食

材の放射性物質検査）を

が、十二月より府教委で実施される（学校給食食

材の放射性物質検査）を

活用し、食の安心安全を

計るとの事。保育所も事

前に大阪府で流通検査を

通った食品を購入と

事。そこで、私は、大阪

府任せでなく市独自で検

査機器を購入してチェック体制を整えるように、

文部科学省が今回、東北

・関東限定で行った放射

線検査機器購入補助を関

西でも実施してもらえた

よう要請すべきと提案し

ました。



☆平成24年3月20日(火)春分の日 午前11時受付開始、11時半開演☆
林 哲二後援会懇親会を開催します。(泉大津市民会館小ホール)
皆様、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。